

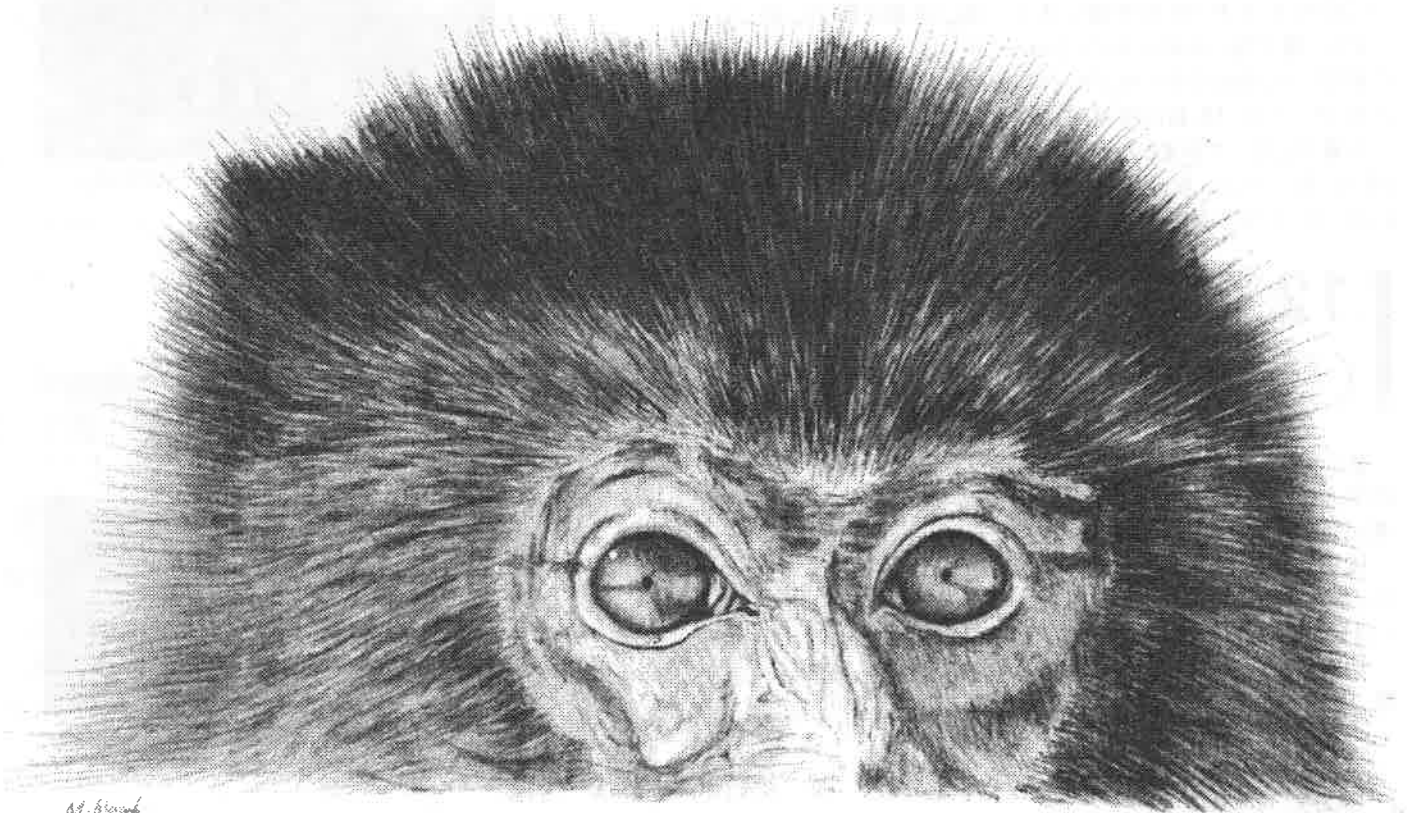
# 楓通信

2-3月号

## ニホンザル

サルの仲間は、そのほとんどが熱帯や亜熱帯に生息しており、青森県下北半島はその分布の北限として知られています。雪景色の中のサルというのは、世界的にはとても珍しい光景のようです。

奥日光では、雪のない日が続いた後、一晩で白い世界となりました。かれらの目に、この冬はどう映っているのでしょうか。



# 奥日光歳時記

## 11-1月

昨年はフライング気味な春の訪れや、秋にシャクナゲが狂い咲くなど不思議な気候が続きました。そして冬は記録的な暖冬で雪不足で困っていましたが、1月18日、ようやく深く雪が積もりました。

文◆みつ .....  
今年の目標は「カタチにすること」。  
少しずつ蓄積してきた経験・知識・想いの見える化を進めています。  
.....

### 雪の降らない奥日光

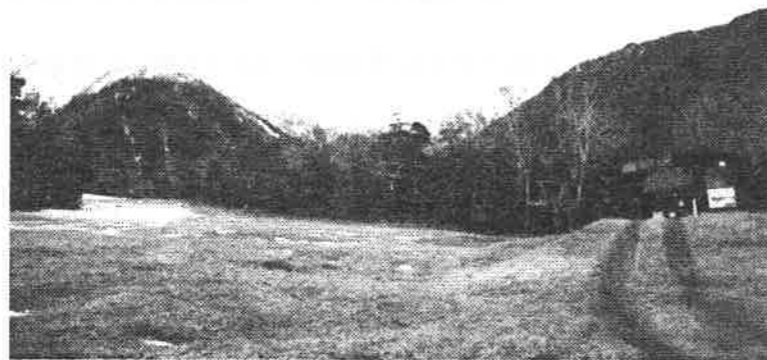
### 12月は1944年からの最高気温記録を更新

年が明けて1月中旬となると、本来であれば、ふわふわのパウダースノーが降り積もり、奥日光は見渡す限り白銀の雪景色となるはずなのですが...

今年の冬はなんだか様子が違います。

とにも、かくにも、雪がない。

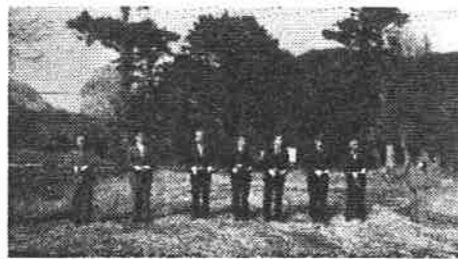
11月下旬と12月上旬に少し積もった雪も、温暖な日が続くとすぐにとけてしまい、12月中旬以降はまったく積もる気配がありませんでした。宇都宮地方気象台によると、奥日光観測所では2015年12月11日に最高気温15.5℃を観測しました。これは、平年の値より11.9℃も高く、1944年の観測開始以来、12月としては最も高い気温となりました。年が明けお正月が過ぎても、右の写真のように湯元スキー場では雪が見当たらず、キャンプ場シーズン同様の草原が広がっています。



1月なのに雪のない湯元スキー場(2016.1.8撮影)

湯元スキー場のオープンに合わせ年末に執り行われる安全祈願祭では、積雪のないゲレンデでテープカットをすることになってしまいました。(※2016年1月19日午後15時にスキー場は営業を開始しました。)

また、雪がないためにスノーシューコースを開設することができず、年始に予定していたビジターセンター主催イベントは3つとも中止となってしまいました。1月18日には待望の雪が50cmも積もり、ようやく奥日光らしい冬景色となってきましたが、スノーシューコースの開設はもう少し先になりそう。冬シーズン本番であり雪上探検ツアーなどのイベントも開催される2月には、しっかりと雪が積もってほしいものです。



積雪のない中で行われたテープカット

### 12月31日 湯ノ湖が

### (ほぼ)全面結氷しました!

グッと冷え込む日はあるものの、雪が降らず風が強いため、湯ノ湖の結氷も思うように進んでいませんでした。ところが、大晦日の朝、ようやく湯ノ湖の(ほぼ)全面結氷が確認されました。

残念ながら、年始に気温が上昇したためすぐに結氷は解消してしまいましたが「ついに本格的な冬がきた!」と感じさせてくれるできごとでした。1月20日現在、寒波の到来で湯ノ湖の結氷は8割ほどまで進みました。一面真っ白になった湯ノ湖の眺めを楽しみながら、春の訪れを待ちたいと思います。

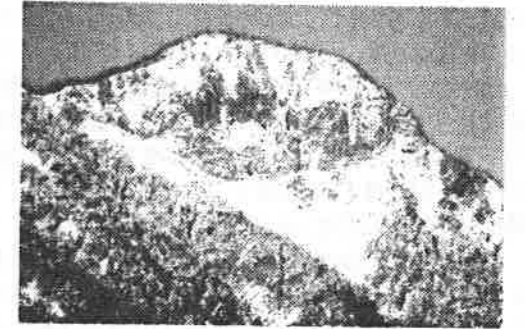


結氷した朝の湯ノ湖(2015.12.31撮影)

### 11月25日に白根山・男体山などで初冠雪 その夜には、湯元温泉街にて初雪が降りました

11月もそろそろ終わるという11月25日に、日光白根山や男体山を含む日光連山で、初冠雪が確認されました。湯元温泉から望む金精山も白く染まり、冬のはじまりを感じさせてくれました。

また、その夜から翌朝にかけては、湯元温泉周辺でも今季初の雪がドサツと降りました。日光湯元ビジターセンター前での積雪は、26日朝の時点で約18cm。足首まで沈む雪の中、スタッフは慌てて雪かきを行いました。「この調子で積もれば今年も安泰だな」と思ったのもつかの間、たちまち雪はとけてしまい、左ページに書いたような困った状況が続いています。



冠雪した金精山(2015.11.27撮影)

### 冬の湯ノ湖の二大スター

### カワアイサとミコアイサが飛来しています

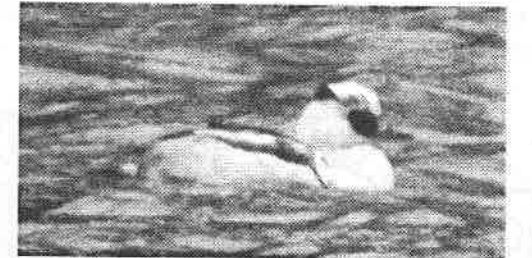
冬の湯ノ湖には様々な種類の水鳥が飛来します。その中でも、特に目を惹く存在がカワアイサとミコアイサです。どちらも、冬になると「今年は来ていますか?」との問い合わせがあります。

カワアイサは、湯ノ湖の水鳥の中では一際大きく、潜水して魚を捕るためにクチバシの先端がカギ状になっていて遠くから見てもカッコ良い姿をしています。また、メスの後頭部は羽毛が立ち上がっているオシャレなタテガミを持っています(写真上)。

ミコアイサ(写真下)は、「パンダガモ」の愛称があり白い体に黒い線や眼の周りの隈取りが入っています。この姿を双眼鏡で見つけると「ああ、確かにパンダっぽい」と改めて思います。今から10年ほど前までは、湯ノ湖へ一度に10羽以上飛来することもあったようですが、近年はオス1羽のみになっています。いつの日か、また群れで泳ぐミコアイサを見てみたいものです。



オシャレなタテガミをもつカワアイサのメス



パンダガモの愛称で親しまれるミコアイサ

### 今年はツキノワグマの 目撃が少なかった?

2015年は前年(2014年)と比較して、ツキノワグマの目撃件数が半減しました(右表参照)。下線のある数字は、2桁を超えた目撃件数を表しています。

目撃の多くなる7~9月も、身構えていた割には目撃情報が寄せられず、平穩に過ごすことができました。奥日光周辺では「今年は何だか当り年だ」という話をよく耳にしたので、クマたちは人のいない山奥で過ごしていたのかもしれませんが。

どんぐりが豊作の翌年は栄養状態が良いために、出生率が上昇するという説もあります。2016年も人とクマの望まない遭遇が無ければ良いのですが...

	2015	2014	2013	2012	2011	2010
3月					1	
4月			2			3
5月	7	4	2	2		2
6月	6	8	9	9	1	3
7月	<u>16</u>	<u>30</u>	<u>19</u>	6	5	7
8月	7	<u>11</u>	<u>42</u>	<u>24</u>	7	7
9月		<u>33</u>		5	1	4
10月	6	<u>15</u>	2	<u>13</u>	1	5
11月		2				3
12月						1
合計	42	103	76	59	16	35

近年奥日光で報告されているツキノワグマの目撃情報数



文◆辻岡 .....  
気象予報士の資格を持つ当センター所長が、  
毎回1テーマを分かりやすく解説します。

## ■太った雪、痩せた雪

豪雪地帯とまではいかない奥日光ですが、それでも一冬に何回かは数十センチの大雪が降ります。

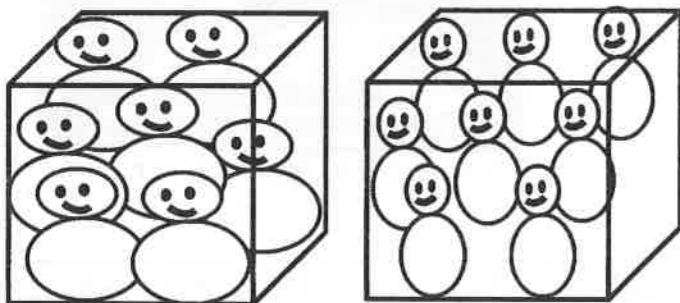
奥日光で降る大雪には二通りのパターンがあります。一つは、日本の南を発達しながら通過する南岸低気圧によるものです。もう一つは、西高東低の冬型気圧配置によるものです。どちらの場合も雪がたくさん積りますが、雪の性質は異なります。一方は重く湿った雪、一方は軽いふわふわの雪、パウダースノーです。

図1は平成26年2月8日の天気図で、南岸低気圧が関東の南を通過中です。この時には東京や宇都宮でも大雪になり、奥日光の中宮祠観測所では29センチの積雪を記録しました。図2は平成27年2月14日の天気図で、冬型気圧配置になっています。この時は中宮祠で25センチの積雪を記録しました。

積雪量としてはどちらも同じくらいですが、降水量はどうでしょうか。降水量は降った雪を解かして測ります。気象庁の記録を調べると、図1の場合は22.5ミリ、図2の場合は8ミリで、降った水の量はずいぶん違います。降水量を水の重さで表し、積雪の体積で割り算するとどうなるでしょう。

前者は積雪1立方メートル当たりの重さが78キログラム、後者は32キログラムとなります。倍以上も違います。南岸低気圧によって降る雪は、南から低気圧に向かって吹き込む湿った風によるもので、水分をたくさん含んだ重い雪です。いわば太った雪です。冬型気圧配置の下で降る雪は北西季節風によるもので、日本海側で大雪を降らせた後に奥日光に流れてきた雲から降ります。すっきりダイエットして水分が少なく、軽い痩せた雪です。

太った雪をスコップで除雪するのは重くて大変ですし、スノーシューで歩いてもラッセルが大変でバテてしまいます。しかし、一冬に数回降る太った雪が奥日光の積雪量を一気に増やしてくれます。密度が大きいので積もった後あまり目減りもしません。軽い痩せた雪は、まとまって降ることもあります。毎日のように少しずつ積もって奥日光全体をパウダースノーの世界にしてくれます。軽いパウダースノーを蹴立ててスノーシューで歩くのは最高です。太った雪と痩せた雪の両方があって、冬の奥日光のスノーフィールドが作られています。



太った雪(78キロ)

痩せた雪(32キロ)

## ■奥日光の気象情報

### 2015年の平均気温・湯元

	2月	3月
最高気温	-2.6℃	2.9℃
最低気温	-8.6℃	-4.4℃

※自然公園財団日光支部公園班の記録より

### 2016年 日の出日の入り(宇都宮)

	2/1	3/1
日の出	6:43	6:11
日の入	17:05	17:35

※国立天文台ホームページより

### 天文情報

	2月	3月
新月	8日	9日
満月	23日	23日

1/4 しぶんぎ座流星群が極大

※国立天文台ホームページより

厳冬期の刈込湖編

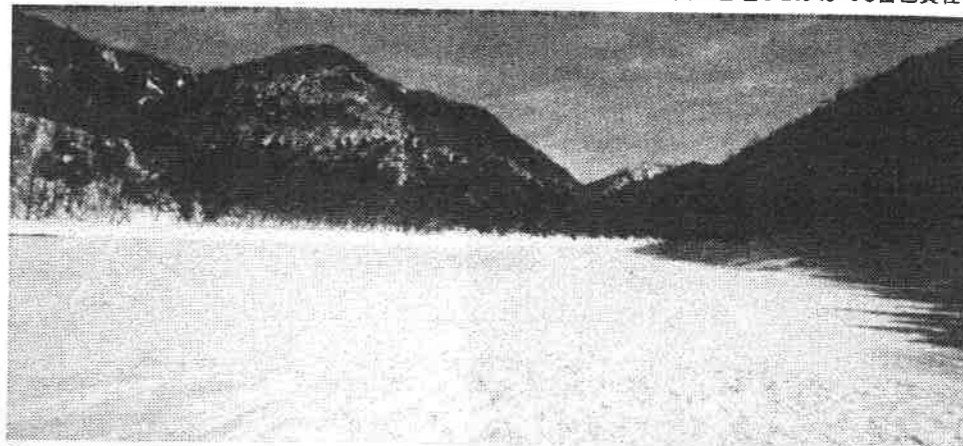
## 第三回にしてまた刈込湖！

夏とはがらりと様相を変える道中、凍結した幻想的な湖。冬も人気のハイキングスポットですが、冬の刈込湖を舐めてはいけません！ しっかり対策して、でかけましょう。

\*小峠から先は、管理されたスノーシューコースの外に出るので、ルートや安全管理などあくまでも自己責任で\*

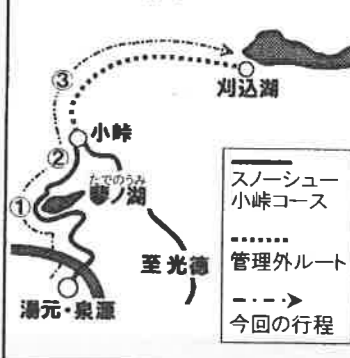
## 文◆サンシロー .....

この冬は毎食ご飯2合食べることを目標にしています。



●凍結した刈込湖

\*地図内の番号は、本文中の番号と対応しています。



## 出発は湯元温泉！

今回も出発は、やはり湯元温泉。泉源から金精道路へ上がります。夏場も急登ですが、雪が積もると滑り落ちる危険があるので、要注意です。

## 冬しかいけない道

金精道路まで上がると、夏の道の脇からリボンが斜面の下へと続きます。あとできっちり標高は稼ぎなおしてもらいますが、この先にあるのは以前ご紹介した冬だけしか近づけない湖「蓼ノ湖」、元気よく向かいましょう！

## 冬だけ近づける湖 ①

少し歩くとよいよ蓼ノ湖が見えます。この湖は、雪の量で湖面が広がったり狭まったりしていきます。訪れるたびに違った姿を皆さんに見せてくれるでしょう。蓼ノ湖周辺の斜面は雪が多量に堆積し崩れやすいので、近づかないほうが賢明です。春先は更に危険です。

## 一気に登る！ ②

夏とは違い、ここがこのコース最大の難所！ 小峠目指して登り続けます。ジグザグに登っていくと多少疲れにくいですが、ただし、スノーシューは斜面を横切る動きが大の苦手なので、慎重に足元を確かめながら歩いてください。

夏の小峠は休憩に適していますが、冬は風も強く、崩れやすい斜面が近いので、のんびりしてられません。

## 刈込湖へ

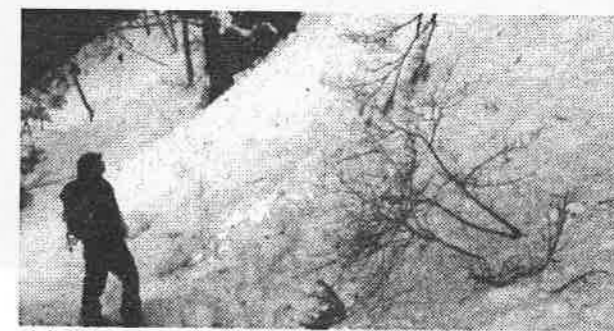
小峠から先は夏とは全く別のルートになり、明るい落葉広葉樹林の中の小さな雪原を歩いていきます。山の中ですが空が広く見渡せて、気持ちのいい景色が続きます。

## 要注意！ ③

平らな地形をしばらく歩くと、今度は下りになります。ここはこのコースの最も危険なスポット。斜面に挟まれたV字型

の山間を歩いていくことになります。雪崩が起きたとき逃げ場がないので要注意です。立ち止まったりせずに速やかに通り抜け、大人数で来ているときはパーティーを小グループに分けるなどの対応をとってください。

ハラハラしながら通過すれば、もう刈込湖はすぐそこ！



大規模な雪崩跡は、見ているだけで気が引き締められます。道と安全は随時確認して、緊張感を失わないように。

## 到着！

快晴の日の刈込湖は凍結した真っ白な湖面と、青い空、混じりけのない白と青が一面に広がるとも綺麗です。

休憩するときは、めんどうでも必ず防寒着を着込み、リュックや手袋の内側に、雪をつけないよう注意してください。雪の上に寝転がり、ほてった体を冷やすのは、とても気持ちがいいです。

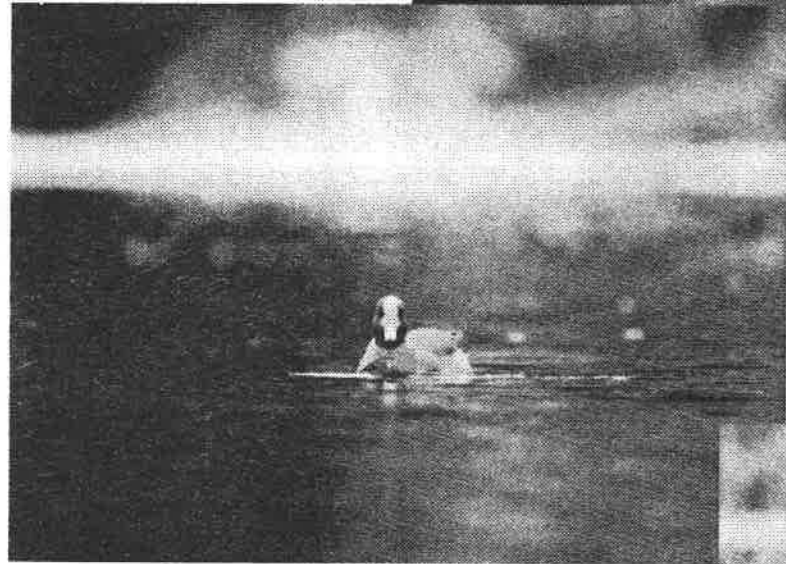
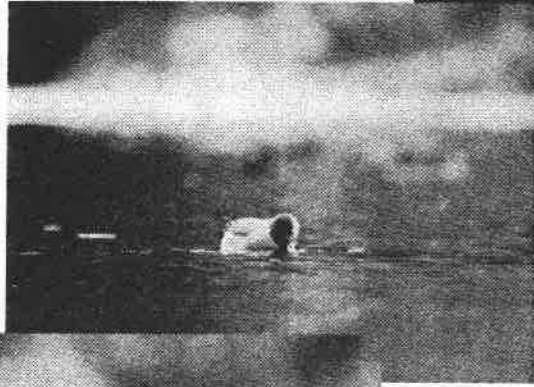
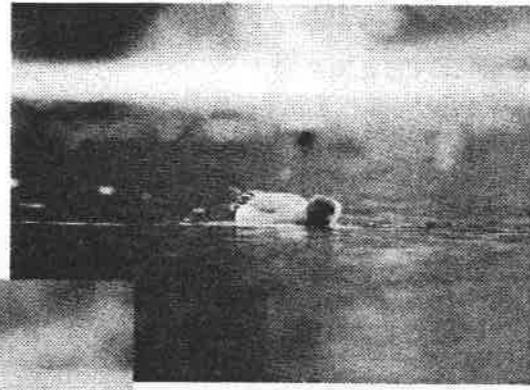
## 帰り道は同じルートを辿るのがオススメです

小峠まで戻ったら、その先は来た時と同じルートを辿り、泉源へ戻るのがオススメです。残りのスノーシューコースを光徳周りで歩こうとすると、それなりにハードな山行になります。

防寒着不足で寒い、体調が悪い、お腹が空いているなど、歩き切れる自信がない時は控えるべきです。また次回の楽しみに取っておいてください。

余裕をもったスケジュールで、楽しく無事に帰ってきてくださいね。

湯ノ湖の湖畔に 寝ころんでみると  
水鳥たちと 同じ視線  
すいすい くるくる 泳ぐ  
ヒドリガモ



雪がなかった頃だけの  
少し 特別な時間

奥日光の風景 2015-16年 12-1月

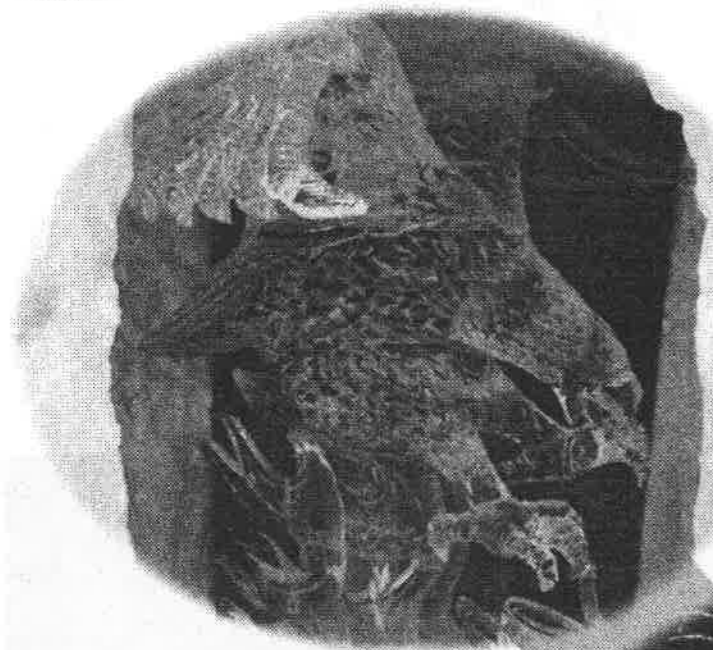


# 湯元温泉街冬の催し物

1月30日(土)~

## 全日本氷彫刻 奥日光大会

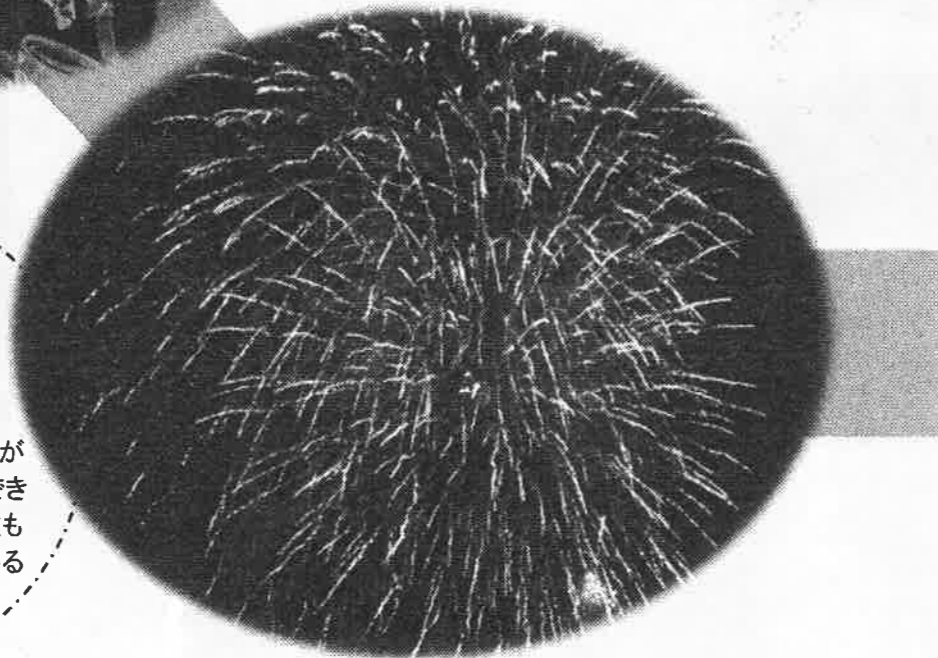
個性豊かな10数基の氷の彫刻が展示されます。実はイルミネーションも楽しめるので、夜に行くのも面白いです。だんだん溶けていくので、早めに行くのがオススメ！  
(期間約2週間)



2月13日(土)

## 冬の花火大会

寒空の中で見上げる、冬の花火がキレイです。寒さに耐えることのできる人だけが見られるので、混雑も少ないです。雪の丘から眺めるのも風情がありますよ。



## 雪や自然を一層美しく演出する 催し物の数々、ぜひご覧ください

日光といえば紅葉が有名で、当センターも秋が一番の繁忙期。では、冬はどんな印象をお持ちでしょうか？氷点下が当たり前の世界なので、人にも車にも厳しい環境ですが、実はこんな楽しみが…。

澄んだ空気、きれいな星空 \* 結氷し、一層の静寂を湛える湯ノ湖 \* 種類も数も多くなってくる水鳥  
真っ白になり、一際神々しくなる金精山や五色山 \* やっぱり温泉は寒いときが一番モチイイ！

…などなど、冬には冬の魅力がしっかりあります。今回ご紹介した湯元温泉冬の催し物も、もちろんその一つ！人混みに疲れてしまう方、マイペースで楽しみたい方に、大変オススメです。

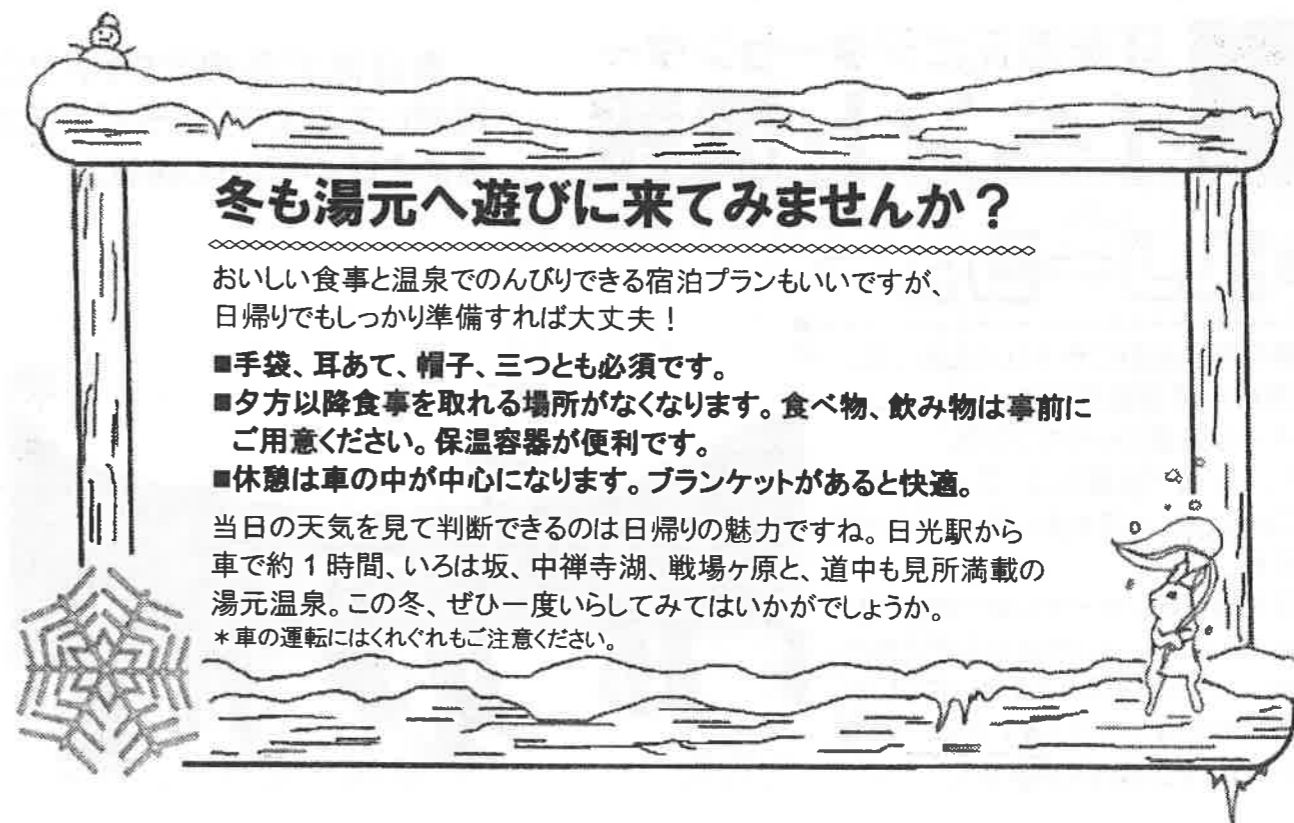
## 冬も湯元へ遊びに来てみませんか？

おいしい食事と温泉でのんびりできる宿泊プランもいいですが、日帰りでもしっかり準備すれば大丈夫！

- 手袋、耳あて、帽子、三つとも必須です。
- 夕方以降食事を取れる場所がなくなります。食べ物、飲み物は事前にご用意ください。保温容器が便利です。
- 休憩は車の中が中心になります。ブランケットがあると快適。

当日の天気を見て判断できるのは日帰りの魅力ですね。日光駅から車で約1時間、いろは坂、中禅寺湖、戦場ヶ原と、道中も見所満載の湯元温泉。この冬、ぜひ一度いらしてみたいはいかがでしょうか。

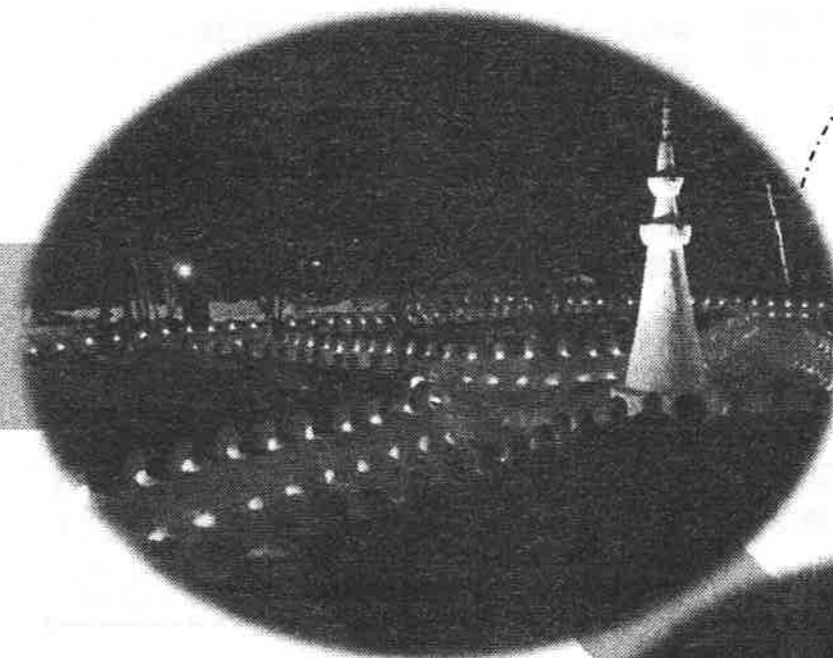
\*車の運転にはくれぐれもご注意ください。



2月13日(土)  
~27日(土)

## ゆきあかり 雪灯里

ライトアップされたミニかまくらがずらりと並びます。三色のライトがかわるがわる点灯し、白い雪を華やかに彩ります。



参加申込  
必要

2月21日(日)

## 雪上探検ツアー

大勢のお客様が訪れ、湯元温泉はお祭り状態。4コースに分かれてそれぞれ出発！ガイド付きのツアーなので、初心者も経験者も楽しめます。



- 各イベントは、天候等の理由により、延期、中止、内容変更される場合があります。
- 詳細は折込みチラシをご覧ください。

# 日光湯元ビジターセンター イベント情報

奥日光で冬のアウトドアに  
挑戦してみよう！ 子ども向け  
雪あそびイベントもあるよ。

## \*スノーシュー

雪の中を自由に歩き回るためには、  
専用の道具が必要です。スノーシュー  
はそんな道具のうちのひとつ。  
スノーシューを履けば、足が雪に沈  
むことなくどこへでも歩いていくことが  
できます。  
日光湯元ビジターセンターでは、初  
めてスノーシューに挑戦するアナタも、  
体験したことはあるけれどガイドなしで  
はまだ不安なアナタも楽しめる2種類  
のイベントを企画しています。



★初めて挑戦するアナタには…

### 半日体験コース

### やってみようスノーシュー

スノーシューに慣れることを目的に、  
湯元温泉周辺を散策します。

日程 2月6日(土)、2月27日(土)  
時間 13:00~15:30  
集合場所 日光湯元ビジターセンター  
参加費 大人500円、小中学生500円  
※別途レンタル代1000円が必要です  
定員 各15名

★ちょっと遠くまで冒険したいアナタには…

### 1日冒険コース

### チャレンジスノーシュー

行き先は担当ガイドによってさまざま。  
お弁当を持って、森の奥まで歩きます。

日程 2月28日(日)、3月5日(土)  
時間 9:30~15:30  
集合場所 日光湯元ビジターセンター  
参加費 大人1000円、小中学生500円  
※別途レンタル代1000円が必要です  
定員 各15名

## \*クロスカントリースキー

雪上散策をする時、より速く駆け  
抜きたい方には、クロスカントリース  
キーがオススメです。  
スキーと聞くと、初めて体験する  
方には敷居が高く感じるかもしれま  
せん。しかし、慣れてしまえば未経  
験の方でも、その日のうちにスイ  
スイ滑って楽しむことができます。  
風をきって雪原を進む快感は、  
他では味わえません。



★初めて挑戦するアナタには…

### 半日体験コース

### やってみよう クロスカントリースキー

初めて体験する方向けに、  
基本的な動作からやさしく説明します。

こちらのイベントは、  
雪不足により中止となりました。  
参加費 大人500円、小中学生500円  
※別途レンタル代2000円が必要です  
定員 15名

★ちょっと遠くまで冒険したいアナタには…

### 1日冒険コース

### チャレンジ クロスカントリースキー

経験者の方向けに、高低差のある長い距離の  
雪上散策にでかけます。

日時 2月3日(水) 10:00~15:00  
集合場所 光徳駐車場  
コース 戦場ヶ原・光徳周辺  
参加費 大人1000円、小中学生500円  
※別途レンタル代2000円が必要です  
定員 15名

## \*雪あそび

### とことん雪あそび

日程 2月11日(木・祝)  
時間 10:00~12:00  
集合場所 日光湯元ビジターセンター  
コース 湯元内園地  
参加費 500円(どなたでも)  
定員 各15名

雪にふれたい、あそび  
たい! でも、ハイキングは  
疲れるからちょっと…。  
そんなアナタにオス  
メのこのイベント。ビジター  
センター周辺で、存分に  
雪あそびを楽しめます♪



## ●●●イベントレポート●●●

### 冬から始めるバードウォッチング 11/28(土) 10~15時

いよいよ当日を迎えるその直前、2015年最初の雪が降った…。  
今年度もとても危険な状況となったこのイベント。道路はツルツル  
のアイスバーン、風も強く、本当に鳥なんか見えるのか? 私不安  
になりました。でも、こんな天気だからこそ普段は見られないよう  
なサプライズがある! それもバードウォッチングの面白いところです。  
16名の参加者とともに湯元を散策。こんなに大勢に見つめられ  
ているのに、のんびりナナカマドをついばむツグミ。強風に煽られて  
逃げるに逃げられないヒドリガモやオオバン。やはり、普段とちょっと  
違った姿を間近でじっくり観察できました。(サンシロー)



### イベントのお問合せ・お申込み

電話・FAXにて次の事項を下記までお知らせください。

- ①イベント名②氏名③年齢④性別⑤住所⑥電話番号(当日連絡のつくもの)
  - ⑦集合先までの交通手段⑧この催しの情報源⑨前・後泊の有無⑩レンタルの有無
- 環境省 日光湯元ビジターセンター(一般財団法人 自然公園財団日光支部)  
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

- 受付は先着順となります
- 小学生以下保護者同伴
- 持ち物・服装などは、約1週間前にハガキでお知らせいたします





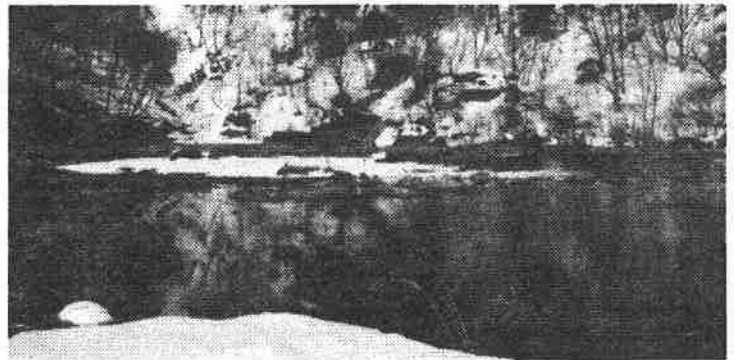
## 金精道路より 湯元温泉街

季節は進んでいく。一見変わらない雪景色の中にも、よく観察すれば確かに春の息吹を感じる。春への期待を膨らませつつ、雪との別れを惜しむ。3月はそのための時間なのかもしれない。



## 雪崩

少し寒さも緩み日も伸びてくると、湯元周辺では大小の雪崩のあとが各所で見られる。さながら、冬の終わりを告げるようである。



## ホオジロ さえずる

まだまだ雪の多い湯元だが、泉源ではホオジロがさえずり始める。「いっぴつけいじょうつかまつりそうろう」そう聞きなされる鳴き声は、バードウォッチャーの耳に一足早く、春の便りを届けてくれる。

## 開館日・開館時間のお知らせ

2・3月

9:30～16:30(水曜休館)

### \*当センター冬季レンタル\*

- ・スノーシュー(大人用) 1,000円/日
- ・スノーシュー(子ども用) 500円/日
- ・クロスカンリースキーセット 2,000円/日
- ・ストック・スパッツ 各200円/日

※1月20日現在、開始日未定

### 【表紙絵の話】

このサルには、昨冬、泉源で出会いました。雪と泥の中から何かの根を掘り出して夢中で食べていましたが、私に気付いてふっとこちらを見た、その瞬間の眼差しです。瞳孔が小さくて恐いですが、大きくて透き通った眼でした(まる)

## 編集後記

長く雪がなかった奥日光。除雪の労はありませんでしたが、スキー場や旅館など観光面で影響が出ました◆さて、野生動物はどうしているのでしょうか。得するもの損するもの、人と同様、様々な思惑が交錯しているのではないのでしょうか◆冬の生き方だけでなく春の迎え方も変わるとすれば、カエルの産卵やアカヤシオの花が早いかもしれません◆人の想い、野生動物のふるまい、自然現象…滅多にみられない雪のない冬を経験した奥日光。その今後にご注目ください(まる)

## 楓通信 No.121

日光湯元ビジターセンター発  
-奥日光の自然情報誌-

2016年2月1日発行  
次号4月初旬発行予定

隔月発行 一部100円  
年間購読料1,000円(送料込)

## 年間購読のお申込み

氏名・住所・電話番号を明記の上、郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払いください。年途中からでもどうぞ！

ゆうちょ銀行 振替 No. 00370-3-7232

一般財団法人自然公園財団日光支部  
〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター  
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378



# 日光湯元ビジターセンターの催し

11-12月

平成27年

## シーズン到来！ 冬から始めるバードウォッチング



オオアカゲラ



ヒドリガモ

キンクロムジロ

日時 11月28日(土) 10:00~15:00  
集合 日光湯元ビジターセンター  
参加費 500円  
定員 15名  
担当 柴田 三四郎

双眼鏡  
貸出無料



ゴジュウカラ

冬は鳥達を観察するベストシーズン！  
ハイキングやお散歩の途中で手軽に楽しめる  
バードウォッチングに挑戦して  
冬も奥日光を楽しんでみませんか？



### 森と湖の鳥を探し求める2本立て

午前 小鳥達の群れやキツツキを探して・・・「静かな冬の森歩き」  
午後 愛らしいしぐさをたっぷり「湖でのんびり水鳥鑑賞」

旅のお土産に！

## 新クラフト体験

約30分 料金200円

生き物はんこ作り

消しゴムやタコ糸を使って、  
生き物はんこ作りをしよう。

自宅へネイチャーメール

旅の思い出をハガキに込めて、  
自宅に向けて送ってみよう。

### 開館時間・開館日

11月 9:00~16:30  
12月 9:30~16:30(平日休館)  
※年末年始開館【12月29日~1月3日】

- 10月1日(木)より受付を開始します(先着順)。
- 当日の受付開始時間は、イベント開始30分前です。
- 荒天時は、前日に中止情報をHPに掲載します。

申込は  
こちら

一般財団法人 自然公園財団日光支部  
環境省 日光湯元ビジターセンター  
TEL 0288-62-2321